

気が付けば早いもので留学も残り四十日となりました。ホームシックになることもなく、ニュージーランド生活を心から楽しんでます。ホストファミリーのホワイト家は私にとっても親切で全く不自由のない生活をさせてくれています。ホストブラザーの配慮で私に話しかけるときはわかりやすいようにゆっくり話してくれます。なので、英語が伝わらないという心配は家の中ではほとんどないです。単語がわからない場合もありますが、できるだけ簡単な英語を使ってくれます。ホストマザーは日本と違ってそんなにせかせか動いている感じはしないです。日本だったら毎日ある程度の掃除をしたり、食器を洗ったり、洗濯したり、洗濯物を干したりと、一日に色々やる必要がありますがニュージーランドでは五日に一回など頻度が少ないです。なので、せかせかしている時はほとんどありません。自由な時間が増えて一緒に何かをする時間が増えるというメリットと、ある程度の期間をあけていろいろなことをするので食器が足りなくなったり、服が足りなくなったりというデメリットがあります。日本の家事とニュージーランドの家事のどっちがいいかはわかりませんが、こういう違いがあると思います。人が家に来ることが多くて毎晩ホストマザーの友達が遊びに来ます。電話もすることが多いです。食事は朝は少なめ、昼も少なめで夜は多めです。ほとんどホストマザーが作ってくれます。そしてホストマザーはお菓子を作るのが好きで、サクサクしたチョコのクッキーやふわふわなケーキなどとてもおいしいものを作ってくれます。学校から帰ってきたらまずそれを食べるというのが日々の日課です。ですが最近は調子が悪いということで、子供たちで作ったり、ピザやフィッシュ&チップスと言った買うだけのものが増えています。毎日美味しい食事が出てきますが、一番のお気に入りにはナチョスです。サクサクしたお菓子のようなものに肉が乗っていてお好みでチーズをかけます。サクサク感がとても斬新でおいしいです。食事の時のマナーははっきり言って悪いです。ホストブラザーはほとんどの食事を残したり、食器でどんどんかんかん演奏してみたり、この前はグリーンピースを投げ合って遊んでいたりでしてました。家は薪ストーブがあるのでとてつもなく暖かくて暑いくらいです。

私たちが通っているダーフィールドハイスクールは湧別のあたりにはないとても大規模な学校です。生徒数は約800人で、学校内でよく迷います。今の時点でもよく迷います。それくらい大きい学校です。僕は数学、日本語、留学生専用のESOLという英語の授業、体育の他に自分で選べる二教科があります。僕は音楽と演劇を選択しています。どちらの教科も、先生も生徒も優しく困ったことは全くありません。私的にはESOLの授業が楽しくていつも先生とわいわい授業を受けています。その代わり一時間以上かかるような宿題を毎日出されます。日によっては一日に二回ESOLがあるときもあります。その時は二時間分の宿題が出るので、つらいです。すべての授業を通して思ったことは生徒が少しうるさいだけで「待ってますよー」だとか「静かにしてください」だとか怒る先生が多い気がします。上湧別中学校がうるさすぎただけかもしれません。学校全体を通して思ったことは上湧別中学校に比べて少し治安が悪

い気がします。学校が広すぎて先生の目が行き届かないということもあると思います
が（先生が慣れてしまっている気がする）ミカンの皮がそこらへんに落ちていたり、
ニンジンが落ちていたりします。今は少し大きめの喧嘩が起こっているらしく、怖い
です。

突然話を変えますが、休日は最初の二週間は積極的にいろいろなところに行ってい
たのですが最近ホストマザーが忙しくてずっと家です。スケートに行ったり大きな
トランポリンが幾つもあるところに行ったり大きな都市に行きました。ニュージーラ
ンドではスケートが人気らしくたくさん人がいました。当然やったこともなく転びま
くりました。マックスがうますぎて嫌になりましたが、雰囲気独特でとても楽しめ
ました。どうしても暇で何をしようかなというときはその辺の探索に行っています。
気づいたことは信号がほとんどなくて歩道もない道が多い気がします。危険といえば
危険ですがこれも慣れてくれば楽しいです。ホストブラザーはゲームが大好きで最初
の方はボードゲームなどをやっていたんですが今はみんなでゲームをやったりもしま
す。とても楽しいです。もう慣れましたがトイレの便器が冷たいです。ニュージーラ
ンドの人たちは逆に暖かいと前の人が使った感じがして嫌なそうです。これも違いで
すね。さらに信号のない大きな道路も横切ります。最初は危険だと思っていました
が、慣れると楽でこれも悪くないなと思います。文化の違いが多くてまだまだ分ら
ないこともあります。残りの日ですできるだけみつけて満足のある留学にしたいと思
っています。



学校の友だちと



ホストブラザーのマックスと

まだまだ帰りたくない気持ちが大きいですが気が付けばもう帰国寸前になりました。7月18日から10月5日まで約3か月、この留学では楽しいことではなかったですがとてもたくさんの方が学べました。もともとの目標であった英語はもちろん上達しましたし、友情を築くこともできたと思います。日本ではやったことのないプリフォーマルのような大きなイベントにも参加できてとても満足な時間を過ごせました。

ホストファミリーはマックスとミッチェルとホストマザーのキャリーさんでした。ホストファザーはカナダに仕事に行ってしまうと一日しか会えませんでした。ホストブラザー関係に悩んだ時もありましたが、やさしく接してくれていろいろなところに連れて行ってくれました。レーザーガンで銃撃戦をやる施設とTramという伝統的な乗り物に乗った日がお気に入りの日です。レーザーガンもTramも家族で行ったのですが、レーザーガンの施設には湧別の航太郎と愛子も家族と一緒に来ていました。その施設は家族経営の施設で男の人一人でやっていました。僕が一番楽しみにしていたTramも最高でした。二種類のTramに乗りました。一つは少し現代的で電気を使っていましたがもう一方はほとんど使っていませんでした。出発の合図のベルもひもを引っ張って手動でやっていました。ドアも手動でした。とんでもなく楽しかったです。

ホストマザーがお菓子を作るのが好きでミッチェルとお菓子を作ったりみんなでゲームをしたりとても楽しい時間を過ごすことができました。

学校では英語の勉強がずっとできました。前にも言ったことがあると思いますがESOLという科目が好きでした。先生がとてもユニークな人で宿題は多かったですが笑いながら英語を勉強することができてESOLが一番英語を上達させるためにはいいと思います。日本の学校と違うところは、湧別の生徒よりも凶暴です。凶暴という言葉はふさわしくないかもしれませんがごみをそこらへんに投げ捨てたり授業中に物を投げたり。そして先生が慣れてしまっていて怒るのですが気休め程度でやめるまで怒らない先生が多いです。たまにペナルティのピンク色の紙を出す先生もいますが少ないです。日本でもそういう学校があると思いますが、生徒が多すぎて先生がいちいち怒ってられないというのが一つ目の違いだと思います。ダーフィールドハイスクールではスマホを使ってもいいというのが二つ目の違いだとも思います。いくつかの授業では翻訳機としてスマホを使っていいといわれたのでごく楽でした。授業中に翻訳以外の用途で使う生徒もいて良いルールだとは言えませんが、翻訳機専用で使うとしたらとても便利だったので必ずしも悪いルールとは言えません。個人的に学校でとても良かった事は留学生専用のクラスがあることです。そこで韓国人やタイ人など外国からきた人たちと交流することができました。韓国語を教してもらったりしてそのクラスが一番楽しかったです。放課後に留学生だけで遊ぶクラブもあってバスケットボールをしたり町に行ったりすることができてそれでたくさん友達を作ることができました。

学校で一番嫌だったことは授業中の生徒の態度です。先生の事を下に見ているような人がいて授業中に床に寝て爆笑していました。日本ではそんなこと全くないのでこれが嫌でした。ただ単に自分が悪いんですが学校が広すぎて落とし物をしたら誰かが勝手に持って行ってしまったりがあってたくさんものをなくしました。なくした僕が悪いですが。ニュージーランドの生活を振り返ってみて思っているのは一人でやることが多い気がしました。例えば放課後に街に行って買い物をしたり大きな部屋を持って今までは気にしていなかったけれど気を付けなければならないことがあったり特に ESOL の授業中は自分の意見を英語で話す機会がたくさんありました。ホストファミリーにカレーを作ったのも勉強になりました。ものの管理やきれいに保つことが苦手なので日本に帰ったら直したいです。日本ではやったことのない大きなイベントや施設にも参加できました。レーザーガンの銃撃戦もそうですしプリフォーマルや Huge air というトランポリンがたくさんあるところにも行くことができました。どれも大人数で楽しむものでいろいろな人と交流ができてとても楽しかったです。プリフォーマルは学校の企画で人数が多いことを生かして 19 時から 22 時まで踊り続けました。街のところどころに日本人もいて日本の観光客が多いことも実感できました。

まだまだやり残したことがあるかもしれませんがとても充実してたくさん事を学べた最高の留学でした。

このような最高の留学ができたのも湧別町の方々、先生そして家族のおかげです。ニュージーランドの先生やホストファミリーにも本当に感謝しています。行く前は少し不安な気持ちもありましたが今はそんな気持ちは全くなく来てよかったと心から思える留学になりました。皆さん本当にありがとうございました。

